



パネル展『岩沼市史』からみる岩沼と伊勢参り

図書館1階エントランスで「伊勢参り」に関するパネル展が開催されました。伊勢参りとはなんでしょうか。パネル展の内容をもとに紹介したいと思います。

江戸時代の旅ブーム

江戸時代に庶民の間で、伊勢神宮(三重県)を参拝する伊勢参りがブームになりました。江戸時代の伊勢参りは、伊勢神宮を旅のメインとしながらも道中各所の寺社を巡って歩きました。江戸時代版聖地巡礼と考えると分かりやすいです。なかでも、おおよそ60年周期で多くの人々が伊勢神宮を訪れる大ブームがおきました(おかげ参り)。明和8年(1771)のお陰参りでは460万人が訪れました。これは当時の人口の6人に1人の割合だったそうです。



伊勢神宮に行ってきました!

↓ どうしてこんなに人が集まったの?

- ・ 庶民の移動が厳しく取り締まられていたが、伊勢神宮参拝だけは、お守りなどの証拠があれば許された。
- ・ 農業技術が上がり、庶民の収入がふえた。
- ・ 職場の上司や親に許可なく参拝も許された。 など

グループ(講)を作って伊勢神宮参拝のお金を出し合い、くじなどで決めたグループ(講)の代表者が参拝することもありました。講のメンバー全員が参拝を達成した時などに記念碑を造りました。



貴船神社(岩沼市小川)の石碑群

僕も伊勢参りするワン!



イラスト:宗なほ氏

伊勢参りをしたのは人だけではなく、犬も伊勢参りを行ったという記録が全国各地にあります。なぜ犬たちは伊勢を目指したのでしょうか。それは、病気などで伊勢参拝ができない主人に代わってお参りし、お礼をもらってくるためでした。犬たちはお賽銭を入れた袋を首に下げていました。それを見た人々は犬たちにエサをあげたり、一緒に歩いたりしながら伊勢への旅を支えたそうです。